

新規恒久5施設の経営改善に向けた専門委員会（第三回） 議事要旨

- 1 開催日時 令和5年4月21日（金曜日）10時から12時まで
- 2 開催場所 オンライン開催（東京都庁第一本庁舎 19階会議室）
- 3 出席委員 守泉誠委員、原田宗彦委員、上代圭子委員、笹井裕子委員、村木美貴委員、高島慶太委員（6名全員出席）
※ 第一回の互選により、委員長は原田委員

4 会議内容の概要

（1）開会挨拶・趣旨説明

経営企画担当部長より、新規恒久5施設の収支改善について、これまでの委員会で出た意見の取りまとめ、及び今後の各施設の取組に係るご意見を頂きたい旨を説明

※ 新規恒久5施設：

海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場、東京アクアティクスセンター

（2）議事

①これまでの経緯について

第一回、第二回専門委員会を踏まえた新規恒久5施設の経営改善や利用促進に向けた意見のとりまとめを行った。

②今後の各施設の取組に係る意見交換

○夢の島公園アーチェリー場

- ・イベント時に飲食ができる場は必要なので、キッチンカー等を活用すべき
- ・周辺施設と連携することも有効である
- ・学生に人気のフライングディスクについて、校外授業や部活動を誘致したい

○海の森水上競技場

- ・競技利用については、戸田公園漕艇場に艇庫等を有していない学校や企業が、特にターゲットになり得る
- ・多目的利用の検討に当たっては、景観が良いところを最大限に活用したい
- ・旅行会社と連携して、特にバックパッカーや学生の旅行客を誘致したい
- ・広大な陸域や周辺に住宅が無いなどの環境を活かし、音楽フェスのようなイベントを行ってはどうか（海の森公園との連携も進めたい）

○大井ホッケー競技場

- ・ホッケー利用について、より利用が促進される戦略を検討したい（例えば、学校の部活動でホッケーを教えられる人材が不足しているので、対応できると良い）
- ・2校以上が共同で部活動を行う場にできないだろうか（地方では地域合同練習を行っている例もある）
- ・地域総合型スポーツクラブなど、個々の利用だけでなく、コミュニティづくりを模索したい

○カヌー・スラロームセンター

- ・カヌーやラフティングは見るとやってみたくなるような魅力があるので、旅行代理店との連携などにより国内外の旅行客の取込みを進めていきたい
- ・施設側の人手も確保しつつ、旅行パッケージに組み込んで、定期的な集客を図ってほしい（修学旅行なども有効）
- ・ファムトリップ（海外のプロガーやメディア向けのモニターツアー）の実施により、将来のインバウンド需要増の可能性が広がる

○東京アクアティクスセンター

- ・辰巳国際水泳場で行われていた競技利用や取組を、東京アクアティクスセンターでもしっかりと実現していきたい
- ・キッチンカーや自販機などで、飲食の場を確保したいところ（自販機については、変わったものを入れると話題性も期待できる）
- ・4階に空きスペースがあるので、そちらの活用方法も検討したい
- ・学校授業や部活動の誘致はもちろん、プールの多角的な利用（ナイトプールや興行スポーツ、各種イベントなど）を行ってほしい

③その他

- ・「この施設にしかできないこと」を改めて分析し、施設毎に戦略を大きく立てていきたい（その中でも短・中・長期に分けて考えることが必要）
- ・各施設の体験を軸に、全施設を一括した観光戦略を展開できる組織作りを検討したい（周辺施設も含めて考えると、組織の縦割りを超えた連携も必要）
- ・イベント事業者やプロモーターに施設を見てもらう機会を5施設共通で作りたい
- ・指定管理者の「できない」を「こうすればできる」に変化させる取組を推進すべき
- ・日本には四季があることを活かし、季節ごとに異なるメニューを行うのも良い